

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和7年度分）

団体名：笠置町

(千円)								
No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
1	地域づくり連 携推進事業	子育て支 援	笠置未来っ子応援事業	少子化が進む当町において、子どもたちが地域の中で生き活 きと成長していくこと、また若い世代が地域で温かく見守られ ながら子育てすることを応援するため、その一環として、子育 て世帯への経済的支援に取り組む。 ①令和5年4月1日以降、笠置町に住所を有し出生した児童を 養育する者に5万円の給付 ②令和7年4月1日において、次の要件のいずれかに該当さ れる方に3万円の給付 ア) 令和7年度に小学校に入学された児童を養育する笠置町 に住民登録がある者 イ) 令和7年度に中学校に入学された生徒を養育する笠置町 に住民登録がある者 ③令和7年4月1日において、令和6年度に中学校を卒業した 生徒を養育する笠置町に住民登録がある者に8万円の給付	660	90	左記②の対象者への補助実績 小学生2名×3万円＝6万円 中学生4名×3万円＝12万円 左記③の対象者への補助実績 6名×8万円＝48万円	成果指標「子育て世帯・出生数の増 加」に対し、令和7年度において出生 者は1名だったが、本事業の申請時期 が令和8年度であったため、左記①の 対象者はなかったところ。医療費助成 や相談体制の強化、交流できる場づく り、子育てに要する経費の負担軽減な ど、様々な側面から安心して子育てが できる環境整備に取り組んでいく必要 がある。
2	地域づくり連 携推進事業	地域・産 業創造	笠置町商工会等支援事業	笠置町は中小・零細事業者が多く、人口減少や高齢化による 後継者不足も深刻であり、加えて近年の原材料費やエネルギー の価格上昇も伴い今後の経営に大きな不安を抱えている。それ らの課題に対応すべく笠置町商工会への補助事業を通じて、笠 置町内の事業者の持続的な経営や新たな創業者を支援するため に本事業を実施する。 商工会が実施する下記事業に対して、補助金を交付する。 ①町内事業者の魅力をショート動画等で配信したり、笠置町 の四季折々の魅力を感じる写真の提供を様々な方に呼びかける 等、SNS等を活用した広報活動を行うことで、各事業者の魅力発 信や関係人口の増加につなげる。 ②新規事業者を募集するため空き店舗の活用を検討するとと もに、「創業説明会」を笠置町、笠置町観光協会、相楽東部未 来づくりセンターと様々な機関が協同して実施する。 ③町内事業者が連携して観光客向けのお土産や特産品の開発を 実施する。	5,200	711	笠置町商工会への補助金実績 5,200千円（うち900千円は経営発達 支援計画分）	成果指標「観光入込客数（関係人 口）、新規創業数（創業支援数）、S N S フォロワー数、いいね数等の増 加」に対し、 ・創業支援数 0件 ・SNS（インスタ） フォロワー171人 ショート動画148本制作 ・YouTube、TikTok、インスタ、X 累計視聴数 31.4満開再生 であった。創業支援は0件だったが、 成果に結び付けられるよう引き続きSNS で情報発信することを継続していく。
3	地域づくり連 携推進事業	環境	持続的コミュニティ活動 応援補助金事業	地域住民による自主的及び主体的なまちづくり活動の持続的な 取り組みの促進を図るとともに、豊かな地域社会の実現を目的 とする。 住み続けられるまちづくりを推進するための自主的なコミュニ ティ活動に対し、応援補助金を交付する。 <補助対象事業> 子育て支援事業・高齢者支援事業・健康増進事業・引きこも り防止事業・環境美化事業・ 防災防犯事業 等 <補助金の限度額> 5万円（補助率10/10）	50	7	毎月1回、幼児から高齢者まで誰で も参加できるイベント（だんらんハウ ス）を実施し、子育て中の保護者の交 流の場や、一人暮らしの高齢者の居場 所づくりなどを通して、笠置町民の交 流促進を図るために活動をしている1 団体に50,000円の補助を実施。	成果指標「補助金の活用団体3団 体」に対し、1団体への補助に留まっ てしまったが、引き続き自主的な活動 団体の新規掘り起しのため、広報の徹 底に努める。

4	地域づくり連携推進事業	防災	防災力対応向上事業	災害発生時の対応には、平時からの備えと予防が大切である。救護用資機材（AED）について、災害発生時に確実に使用できるよう3台を更新するとともに、新たに屋外用のAEDを1台設置する。 災害発生時の避難所等において、町民の方が『誰が職員か分からない』とならないように統一的なユニフォームとなる防災服を作成するとともに、ヘルメットや長靴の更新を行う。 また、地元消防団と連携し、町内の防災資器材の定期点検を実施し、必要な資機材の整備・更新を行う。	2,625	359	AED本体、防災服、ヘルメット、長靴、消火栓ホースの購入。	成果指標「町内の消防資機材点検年1回、消防団施設の資機材点検 月1回」に対して、地元消防団と連携を図ったことで、全て達成することができた。引き続き日頃からの安心・安全な基盤構築に向けて注力していきたい。
5	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	学びの機会拡充事業	笠置小学校については児童数の減少により複式学級となるどころ、単式で学級編制するため町独自で常勤講師を任用し、基礎学力の向上や充実した学習環境を整備する。また民間に水泳授業やカヌー指導を委託し、小規模校であっても様々な学習機会の確保を図り、専門インストラクターによる質の高い指導を受けるとともに、地域の産業を題材にした「ふるさと学習」を充実させる。さらには相楽東部広域連合内の3小学校において小小連携学習を定期的に実施し、小規模校の強みを生かした合同学習・交流学习を進め、児童数減少による教育課題を克服する。	12,845	1,756	複式学級を単式で学級編制するため、常勤講師（会計年度任用職員）を町単費で任用。 笠置小学校全児童が、民間が運営する水泳施設において専門インストラクターの指導を受けられるよう業務委託を実施。 和東小学校と南山城小学校との合同学習や、笠置町の観光産業であるカヌー体験を行うことで「ふるさと学習」の充実を図った。	成果指標「基礎、基本の確かな学力を育成するため、複式学級対応講師の任用2名、学習機会充実のため、水泳授業委託し、年間5回実施、外部人材を活用したふるさと学習として、カヌー指導を年1回実施、小小連携を年20回実施」に対して、講師2名雇用、水泳年5回実施、カヌー指導1回実施、小小連携年20回実施。 小規模校の良さを活かしたきめ細やかな教育と、自然体験や地域学習に力を入れることで、子どもたちの社会性や協調性、郷土愛を育むことができた。
6	市町村間連携推進事業	交流と連携	自治体クラウド共同運用事業	京都府自治体情報化推進協議会（京都府町村会）が提供するクラウド化された共同利用システムにより、セキュリティ面を強化するとともに、近隣市町村（京丹後市・南丹市・井出町・和束町・京丹波町・伊根町・与謝野町・笠置町）との共同利用により、情報共有、相互支援の実現に資することを目的とする。	3,389	1,495	京都府自治体情報化協議会に属する8市町村による共同利用システムのクラウド運用の実施。 クラウド利用 6システム	成果指標「セキュリティ事故0件の継続」に対し、外部のデータセンターで情報システムを保管・管理することで、令和7年度においても継続してセキュリティ事故0件を維持している。
7	市町村間連携推進事業	その他	相楽消費生活センター事業	相楽5市町村（木津川市・和束町・笠置町・精華町・南山城村）で構成する相楽広域行政組合が設置する消費者生活センターにおいて、消費生活相談員を配置し、相楽地域の住民を対象とした消費生活相談窓口を常設する。	1,507	665	消費生活相談員を配置し、消費生活に関する相談受付、自主交渉の助言やあっせんを実施。	成果指標「市町村の連携により、啓発活動についても幅広く実施する」に対し、広報誌「れんけい」へ毎月啓発記事を掲載することができた。
8	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	財務書類等作成業務	令和6年度決算の財務書類の作成や固定資産台帳の整備について、民間事業者へ業務支援を委託する。	1,815	504	令和7年度財務書類作成支援業務の委託。 業務委託 1業務	成果指標「統一的な基準による財務書類一式等の作成」に対し、左記業務が適切に実施されたことで、書類作成に係る職員の超過勤務の抑制に繋がるとともに、財務書類を活用した健全な財政運営に繋げることができた。
9	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	文化振興	桜保全・維持管理事業	笠置町内全域桜について、剪定・施肥・植栽等の保全作業を笠置町内の団体に委託する。	2,262	628	住民団体との共同による、笠置の観光資源である桜の保全活用や環境整備の実施。 保全活動 年 2回 環境整備 年19回 桜 植 樹 年 5本	成果指標「桜の寿命80年延命、桜の植栽年5本」に対し、桜の植栽は5本であったことから指標を達成できた。住民団体と協働して、笠置の観光資源である桜を保全するため、整枝剪定や消毒液の散布、また周辺の環境整備や植樹等を適切に実施したことで観光振興に寄与することができた。

10	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	環境	町道・河川維持管理事業	地元自治会への委託による町道及び河川の除草。（町道3路線、1河川）	700	195	生活道路として欠かせない町道や河川の維持管理を地元自治会に委託。町道3路線、1河川	成果指標「協力自治会 3区」に対し、自治会3区（飛鳥路区・切山区・東部区）に協力をいただくことができた。それに伴い工事発注時の事務量や諸経費等の削減につながり効率的に事業実施することができた。
11	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	環境	町営住宅管理事業	笠置町にあるすべての町営住宅について、耐震補強や改修工事と並行し、建て替えをせずとも、長寿命化を図ることを目的に、緊急性の高い箇所から定期的に小修繕を行う。	1,216	338	奥田住宅・後谷住宅・有市住宅における長寿命化を目的とした小修繕等の実施。 防草シートの設置、玄関ドアや手すり等の修繕、室内のフローリング化等を実施。	成果指標「耐用年数2・3年⇒15年」に対し、フローリングやドア・手すりの小修繕を実施したことで、建替をせずに施設の長寿命化を図ることができた。
12	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	子育て支援	学校給食施設設備更新事業	笠置小学校の学校給食は自校方式となっており、温かい給食の提供や地元食材の活用、身近な栄養教諭や調理師による食育など、自校方式のメリットを生かして笠置小学校ならではの給食を提供している。しかし、施設自体の老朽化は著しく、児童数の減少により1人あたりにかかる費用も高騰している。そうした中でも、児童や保護者、地域の方にも美味しいと評判の給食を提供し続けるため、給食設備の更新をおこなう。	2,076	577	食器消毒保管庫及び冷蔵庫の更新を実施。	成果指標「安定した学校給食の提供」に対し、給食設備の更新を行ったことにより、故障等を未然に防ぐことができたため、一日も欠かすことなく学校給食を提供することができた。